



NEWS STREAM

TETSUO

遠山鉄工所代表社員てつお君の
ニュース番組へようこそ

出張レポート (福岡県北九州市)

くじらせ

鯨瀬排水機場

福岡県県土整備事務所御用
施工: 株式会社 日立インダストリアルプロダクツ

鯨瀬排水機場

遠山鉄工所の鉄管が使われ、洪水から北九州工業地帯のベッドタウンを守る

九州福岡県北部の北九州市にある「鯨瀬排水機場」には、遠山鉄工所の鉄管が使われているよ。遠賀川水系の曲川と江川の合流地点にあって曲川周辺の洪水を防ぐ重要な役割を担っているよ。

鯨瀬排水機場

福岡県北九州市八幡西区
三ツ頭2丁目26-1
(最寄駅: JR折尾駅)

九州北部はこんな地域だよ

山と海が近く川が急流になりやすく昔から洪水が多い。鯨瀬排水機場のある場所を流れる一級河川の遠賀川も昔から洪水が多く、今でも治水事業は続いているよ。洪水が多いということは、肥沃な土壌が生み出される事にも繋がり農業は盛ん。北側には玄界灘が広がり南から暖流(対馬海流)が来るから漁業も盛ん。朝鮮半島に近く、様々な異文化交流がある土地柄。「博多商人」なんて言葉もある。歴史は古くて縄文時代の遺跡も多く見つかる豊かな場所なんだよ。江戸時代初期に黒田長政がやって来て灌漑用水や河川の改修工事を始めたので、飛躍的に農業が発達したんだ。近代に入ると、「筑豊炭田」として有名になった石炭採掘が始まり、日本有数の工業地帯になって行った。すごく活発でエネルギーに溢れた場所なんだね。



満潮時に逆流する江川と鯨瀬排水機場

江川は、遠賀川河口の先の玄界灘と八幡製鉄場で有名な北九州工業地帯のある洞海湾を結ぶ河川だよ。元々が玄界灘と洞海湾の間の海峡で水源はなく、両側の海の潮の満ち引きの影響を受けるため、時間帯によって流れの向きが変わるんだよ。満潮時に江川から曲川に水が逆流しないように、鯨瀬水門で仕切っている。鯨瀬排水機場は曲川の水位が上がった時に江川の河口方向に排水する機能を持っているよ。排水時には、遠賀川河口の船は川を遡れないくらい流れが強くなるって地元の方が話していたよ。



「鯨瀬」という地名だけど、鯨が打ち上げられたので、供養のために鯨塚を作ったという昔話があるよ。海と密接につながっているんだね。



鯨瀬排水機場と遠山鉄工所産の鉄管<両フランジ曲管(350A座付)φ2,000×45°(L=1,500×1,393)>。

鯨瀬水門



川上から見た鯨瀬水門と鯨瀬排水機場(地図のA)。



鯨瀬排水機場を川下から眺めると排水口がある(地図のB)。

曲川と水巻町

鯨瀬排水機場が洪水から守っている曲川は、主に水巻町を流れているよ。そこで、水巻町のことを取材して来たので、紹介するね。



1 三つの山～伊豆神社

水巻町の中心には「明神ヶ辻山」「多賀山」「豊前坊山」という三つの山があって、大昔は「水を巻く」ように海や川が流れていたんだそうだ。明神ヶ辻山にある伊豆神社には「盛砂」というものがあり、玄界灘の砂を清めて、近所の方が盛塩の代わりに使っているそうだよ。神社の奥の山は手付かずの森が広がっていて神聖な雰囲気があるよ。



伊豆神社の狛犬は片方が逆立ちしているよ。右の写真は盛砂。

2 旧石器時代から人が住んでいた

玄界灘の海の幸、山も近く遠賀川が作り出している肥沃な平野には、旧石器時代から人が住んでいたらしいことが分かっているよ。立屋敷には、弥生時代の遺跡があって、土器も発掘されているよ。



遠賀川式土器壺 (弥生時代前期/立屋敷遺跡採集)

3 平家の物語が各地にある～山鹿氏

平安時代、一帯を支配していたのは平家方の山鹿一族。様々な遺跡や伝説が残っているよ。ちなみに赤穂浪士で有名な山鹿素行は子孫だとか。その後、麻生氏が一帯を治める事になるよ。水巻の北に今でも山鹿という地名があるよ。

4 江戸時代黒田家の治世～堀川

江戸時代になると、黒田長政が福岡城を拠点に一帯を治めるようになったよ。福岡城を建てるために遠賀川上流で森林伐採をしたのだけど、そのせいかわか、...遠賀川河口一帯は洪水が多かった。そこで長政は、遠賀川の河川を改修したり、堀川という灌漑用水を作ったりしたんだそうだ。この堀川が、やがて農作物や石炭運搬の運河になったりして行ったんだよ。ちなみに、堀川を掘削している時に黒い石＝石炭が見つかったらしい。地元では農業の燃料などで家庭で使われていたそうだよ。



江戸時代の遠賀川改修。曲がりくねった本流を真っ直ぐに。用水路の堀川を開削。江川は潮の干満があり船の運行に難があった。堀川ができると、筑豊炭田と工業地帯の洞海湾の往来がだいぶ楽になった。■ 遠賀川本流 ■ 堀川



遠賀川河口付近からの眺め。太古からある小高い山々の間に遠賀川が運んできた土でできた平野が広がる。

5 筑豊炭田随一の石炭生産地だった

近代になってくると、北九州は工業地帯として発展したんだけど、その発展をエネルギー面で支えたのが、遠賀川一帯に広がる筑豊炭田。昭和40年代にエネルギー革命が起こるまでは繁栄の一途だったんだよ。水巻町はその中でも



随一の生産を誇ったんだ。炭鉱の歴史は暗い側面もあり、その中には強制労働もあった。川で石炭を洗ったので黒い川になってしまったり、掘削によって地盤沈下したりと、治水面で難しい事もあった。今では面影は少ないけど、大事な歴史だよ。



日本炭礦旧梅ノ木区・高松区炭鉱社宅(昭和46年)。炭鉱労働者の住居が立ち並び、昭和20年代には労働者は1万人を超えた。



強制労働者の中にオランダ領から連れて来られた人たちもいたけど、今では悲しみを乗り越えて深い繋がりを築くようになった。街の壁画には、水巻の町木のエチョウがオランダのチューリップになっていく様子が描かれていたよ。

6 北九州市のベッドタウン～梅ノ木団地

炭鉱会社の団地が林立していた町は、今では北九州市と福岡市のベッドタウンとして人気。町の中には団地がとても多いよ。水巻町全体が、また新しい役割を担っているんだね。



水巻町の中心にある梅ノ木団地。東京から移住する人もいると、現地の管理会社の方が話していたよ。レトロモダンな雰囲気でもリノベーションも行われているらしいよ。

7 でかにんにく?! 焼肉屋さんも多い!

水巻町の名産に「でかにんにく」という食べ物があるよ。ゲンコツ大の大きさで、実は玉ねぎの種類だそうで、特産品売り場icottoの店員さんは、にんにくと名前はついてはいるけど意外に旬は少ないと話していたよ。タクシーの運転手さんから聞いた話では、でかにんにくは地元の人に大人気らしいよ。焼肉屋さんが多いのも水巻町の特徴なんだけど、実は、在日韓国人が多く住んでいるかららしい。炭鉱の労働者として連れて来られたのかもかもしれないけど、太古の昔から様々な地域からの異文化が流れ込んでくる、この地域らしい、エネルギーも感じられる食文化だよ。



歩いていると話しかけてくれる人も多く、穏やかで明るい雰囲気の町だったよ。洪水も最近はないそうで、新しい家が多かったな。遠山産の鉄管が役に立っているんだと思うと、嬉しい気持ちになるね。



協力：福岡県県土整備事務所 水巻町歴史資料館 みなさんありがとうございました!

資料館は塔が入り口になっている可愛い建物。